

# からく

特集

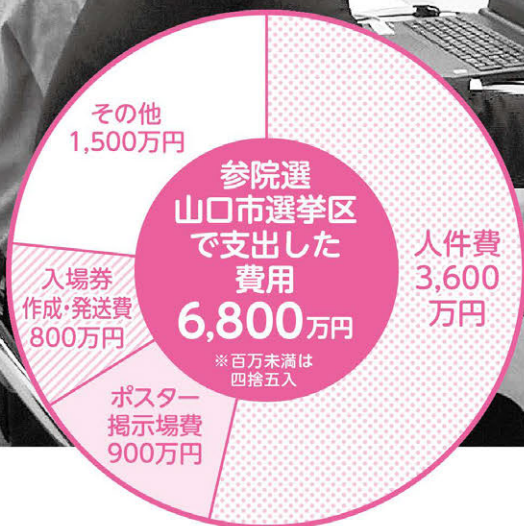
# 選挙とお金

明推協の活動報告  
明るい選挙啓発作品受賞者紹介

## 附属山口中学校での 生徒会選挙の様子

山口市選挙管理委員会では、中学校や高等学校へ、実際の選挙時に使われる投票箱や記載台の貸し出しを行っています。

# 選挙とお金



## 選挙に使われるお金

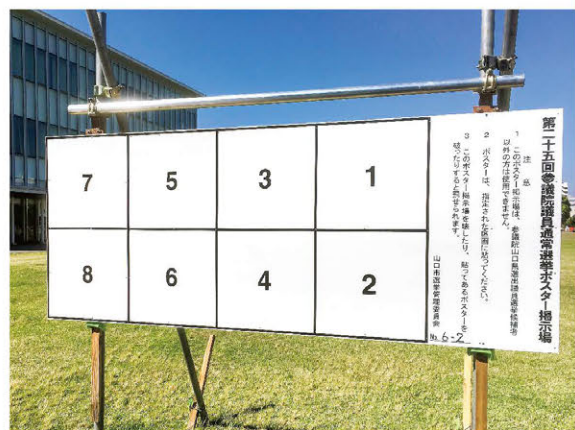
全国で500億円〜600億円。

最近20年間で、参議院選挙が1回行われるごとに使われたお金の相場です。昨年の参議院選挙でも、570億円以上が予算計上され、有権者ひとりあたり500円程度かかったと見込まれています。

山口市選挙管理委員会によると、管轄である山口市選挙区だけで、約6800万円がかかったそうです。

内訳を見てみると、一番多いのは、人件費で3600万円。主に投票所や開票所で事務に従事する人に支給する費用です。例えば、一つの投票所には、投票管理者、投票立会人2人、職務代理人、事務従事者の最低5人が必要です。規模が大きくなれば、人員がさらに多く必要となります。山口市の期日前投票所数は、39箇所、延べ数にすると155箇所。さらに、当日投票所数が78箇所あるため、このような金額となっています。

それから次に多いのは、候補者の顔写真と名前が載っているポスター掲示場の設置および撤去費用900万円です。その他にも、投票所入場券の作成と発送に800万円、選挙公報の配布に



参議院選挙で、市内450箇所のポスター掲示場にかかった費用は900万円だった。

2000万円などが支出されています。山口市内の有権者16万人の人が投票できるように準備をすれば、それに見合う人員、お金が必要となるのです。

選挙は、民主主義の社会のための必要な手続きです。昨年の参議院選挙のように、投票率が50%を下回っている現状で、この570億円は、はたして活きた税金となっているといえるでしょうか。民主主義を確かなものにするため、ひとりひとりが主権者としての自覚を持ち、投票に参加する必要があるのではないのでしょうか。

※国政選挙の場合、国、県、市町村で担当する事務が異なります。6800万円は山口市が担当する事務のみの経費です。立候補者のポスター、ビラの作成などの公費負担分や、政見放送のための費用などは含まれていません。

# 選挙に使われてはいけないお金

選挙犯罪で多いのが、「買収」というお金が絡むものです。警察庁によると、昨年の参議院選挙では、全国で摘発者52人のうち8人がこれに当たるそうです。

最近では、政治家が選挙のスタッフに対し、法律で決まっている以上の報酬を支払った疑いがあると、ニュースで取り沙汰されていますよ。

政治家が金品を有権者に贈る行為は禁止されています。こうした行為は、「買収及び利益誘導罪」にあたります。では、違反した場合どうなるのでしょうか。なん



と、3年以下の懲役もしくは禁錮、50万円以下の罰金という重い罪になってしまいます。それから、選挙には5年間参加できなくなり、議員であれば失職してしまいます。お中元やお歳暮などはもちろんですが、地域のお祭りや運動会での差し入れなどについても、基本的に違反になります。

これは、贈る側はもちろん、もらう側についても、「買収目的交付罪」となり、同じ重さの刑罰が科されますので、注意が必要です。

ちなみに、約60年前に行われた昭和34年の参議院選挙では、摘発者が1万6千人もいて、そのうち46.1%が買収によるものだったそうです。当時を知る人によると、選挙運動も決まりを逸脱した行為が多く見られ、個人へのモノやお金の受け渡しが多かったそうです。

今でこそ、私たち市民の意識が高まり、違反の数が大幅に減ってきた選挙犯罪ですが、今後も、不正のない明るい選挙が続くようにしたいものです。

# 明推協の活動報告

山口市明るい選挙推進協議会（明推協）では、年間を通してさまざまな活動を行っています。

## 【街頭啓発活動】

選挙が始まると、街頭啓発活動を毎回行っています。昨年4月に行われた山口県議会議員選挙では、選挙期間中に約150人が参加。このうち、山口市中心商店街では、4月6日に、大殿・白石・附属山口中学校の生徒のみなさん16人を含む50人で、街行く人達に、投票を呼び掛けました。



## 【出前授業】

主権者意識を高める目的で、平成28年から、中学校および高等学校の生徒向けに選挙に関する出前授業を毎年行っています。今年度は、7校で約1400人の生徒の皆さんに出前授業を行いました。特に、「まちづくりゲーム」というテーマで、実際の6年間のまちづくりを体験するという授業や、山口税務署と合同で税と選挙について考える授業を行いました。

## 令和元年度 出前授業の実績

令和2年  
3月1日現在

実施日	場所	対象	人数	時間	内容
9月12日	山口高校 徳佐分校	全校生徒	42名	20分	講義 生徒会役員選挙
11月25日	防府高校 佐波分校	3年生	16名	50分	まちづくりゲーム
11月28日	附属山口 中学校	全校生徒	407名	50分	まちづくりゲーム
12月6日	山口南総合 支援学校高等部	2年生	19名	100分	講義 模擬投票
1月17日	山口 中央高校	3年生	22名	45分	講義
3月12日	山口高校	1,2年生	638名	100分	まちづくりゲーム 模擬投票
3月16日	西京高校	2年生	241名	100分	まちづくりゲーム 模擬投票

# 入場券がない vol.1



※身分証等の提示は、基本的に必要ありません。

## 編集後記

新しい元号「令和」にあたって、広報紙さくらもデザインを刷新してみました。表紙の題字「さくら」は、吉敷在住のやまだゆづきちゃん(6)が書いた作品です。これは、山口保育園の年長クラスの園児たちに一生懸命書いてもらったものの中から、選ばせていただいたものです。

この子どもたちが選挙権を持つのは12年後です。次世代の子供たちがより暮らしやすい社会につなげるためにも、若い世代の選挙への積極的な参加が求められますね。



# 明るい選挙啓発作品

子どもの頃から選挙に関心や親しみをもってもらうとともに、子どもの取り組みを通じて大人の選挙の関心を高め、また、広く有権者に明るい選挙を周知するため、ポスター、習字および標語について、小中高校生を対象に毎年募集を行っています。今年度は、山口市内から小学校 22 校 1,731 人、中学校 15 校 576 人の応募がありました。

山口県明るい選挙推進協議会 会長賞



平川小学校2年 玉岡佑夏さん

## 入賞者



井関小学校3年 片岡 恵万さん

佳作

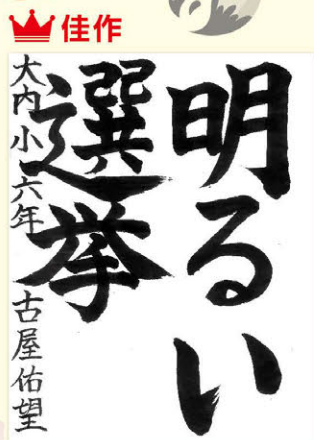


大内南小学校5年 新野 舞子さん

佳作



井関小学校6年 藏富士 莉子さん



大内小学校6年 古屋 佑望さん



山口県明るい選挙推進協議会 会長賞



川西中学校2年 宮里 慶さん

佳作



湯田小学校5年 山田 歩奈さん

